

パワーエイド三重合同会社に対するシンジケーション方式での 「グリーンローン」契約の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、パワーエイド三重合同会社（以下「パワーエイド三重」）との間で、シンジケーション方式によるグリーンローン（以下「本件」）のアレンジャーに就任し、本日、融資契約（以下「本契約」）を締結しました。

パワーエイド三重は、三重県松阪市における木材・製造業生産副産物を燃料とするパワーエイド三重シン・バイオマス松阪発電所（以下「本発電所」）の建設・運営を目的に、バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社（代表取締役：北角 強、以下「BPT」）を代表社員としてBPTを含む6社の出資によって設立された会社であり、本発電所は2025年1月の運転開始を予定しています。

本件の融資対象となる本発電所は、三重県多気町に所在するホクト株式会社（以下「ホクト」）の三重きのこセンターから排出される廃菌床（使用済培地）ならびに主に中部圏から排出されるリサイクル木材チップおよびRPFを発電燃料としています。発電された電力は、15年間にわたり燃料サプライヤーであるホクトに対して供給される予定であり、多気町の廃棄物処理業務の負担を低減しつつ、地域における資源・エネルギー循環経済の構築に貢献するものです。

BPTは、「バイオマスによる地方創生エネルギー事業～資源循環型社会の創造～」を経営理念に掲げ、地域社会の持続可能性、域内循環性および世代継承性の向上のため、「シン・バイオマスエネルギー」と称するバイオマスエネルギーを新たなエネルギー経済の形とした地域社会の創造を目指しています。

みずほ銀行は、パワーエイド三重による環境及び地域社会への取り組みを評価し、BPTが目指す地域資源循環スキームの実現をファイナンス面から支援すべく、本契約を締結しました。

本件は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、「グリーンローン原則」（※）に準拠している旨の第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、脱炭素化に向けたお客さまの事業の強化・転換をサポートするため、ファイナンスや助言、ソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

<本契約の概要>

借 入 人: パワーエイド三重合同会社

ア レ ン ジ ャ ー: 株式会社みずほ銀行

組 成 金 額: 20 億円

契 約 締 結 日: 2023 年 3 月 31 日

実 行 日: 2023 年 3 月 31 日

(※) グリーンローン原則:

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。
2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

以 上